

自然共生課

自然共生保全費	109
オフセット・クレジット推進事業費	110
清流保全推進事業費	111
四万十川総合対策費	112
希少動植物保護対策事業費	113
自然公園等施設整備事業費	115
自然公園等管理費	116
牧野植物園管理運営費	118
豊かな環境づくり総合支援事業費	120
環境活動支援センター事業費	122
公園施設等災害復旧事業費	123
自然保護基金管理費（特別会計）	123

事業名	令和7年度	令和7年度	令和8年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
自然共生保全費	6,704	6,889	7,099		(諸) 16	7,083

I 環境影響評価推進費 (1,056千円 (-)1,056千円)

1 目的

環境に著しい影響を及ぼすおそれのある大規模な開発事業計画に先立ち実施する環境影響評価（アセスメント）の審議等を行う。

2 内容

(1) 委員報酬 (540千円 (-)540千円) (環境影響評価技術審査会委員報酬)

(2) 事務費 (516千円 (-)516千円)

II 自然共生保全事務費 (6,043千円 (-)6,027千円 (諸)16千円)

1 目的

環境行政の円滑な推進を図るための各種連絡会議への出席や関係機関との連絡調整等の事務費

2 内容

(1) 負担金 (15千円 (-)15千円) (公益財団法人日本自然保護協会負担金)

(2) 事務費 (6,028千円 (-)6,012千円 (諸)16千円)

事業名	令和7年度	令和7年度	令和8年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
オフセット・クレジット推進事業費	6,048	6,075	5,842		(諸) 5,078	764
<p>I 高知県版J-クレジット制度等運営事業費 (3,135千円 (-)764千円 (諸)2,371千円)</p> <p>1 目的 県内の森林資源を活用した森林吸収及び排出削減プロジェクトを対象とした高知県版J-クレジット制度の運営を行い、クレジットを創出・販売することで地球温暖化対策と雇用の創出へつなげる。</p> <p>2 内容 (1) オフセット・クレジット認証センター運営等委託 (3,051千円 (-)764千円 (諸)2,287千円) 委託先：一般社団法人高知県山林協会 契約方法：随意契約 (2) 事務費 (84千円 (諸)84千円)</p> <p>3 令和7年度までに実施した主な事業 高知県版クレジット制度のプロジェクト登録等の状況 ・プロジェクト登録件数(累計) 12件 (R7:新規登録なし) ・クレジット発行量(累計) 10,444t-CO₂ (R7:新規発行なし) ・クレジット販売・譲渡量(累計) 8,883t-CO₂ (R7:679t-CO₂)</p> <p>II CO2木づかい運動推進事業費 (96千円 (諸)96千円)</p> <p>1 目的 県産材を用いた木造住宅や木造建築施設、木製品の二酸化炭素固定量を認証することで、木材利用が温暖化対策につながることを広くアピールし、県産材の利用を促進する。</p> <p>2 内容 (1) 事務費 (96千円 (諸)96千円)</p> <p>III オフセット・クレジット販売促進等事業費 (2,611千円 (諸)2,611千円)</p> <p>1 目的 森林吸収クレジット及び排出削減クレジットの販売促進を図るため、首都圏などで開催される環境系イベントへの出展や環境先進企業への訪問、オフセットプロバイダーへの販売委託を行う。</p> <p>2 内容 (1) オフセット・クレジット市場拡大事業委託料 (660千円 (諸)660千円) 委託先：オフセットプロバイダー 契約方法：随意契約 (2) 事務費 (1,951千円 (諸)1,951千円)</p> <p>3 令和7年度までに実施した主な事業 (1) オフセット・クレジットの発行(単位はt-CO₂) ・木質資源エネルギー活用事業 20,257 H20:899 H21:1,932 H22:3,089 H23:2,534 H24:5,400 H25:6,403 ・森林吸収量取引プロジェクト 2,305 (うちバッファ-68) H22:285 H25:2,020 (2) オフセット・クレジットの売却(単位はt-CO₂) ・累計 842件 売却等済み 15,387 H20:899 H21:1,742 H22:1,743 H23:1,658 H24:591 H25:1,744 H26:478 H27:328 H28:363 H29:336 H30:444 R 1:872 R 2:702 R 3:693 R 4:578 R 5:603 R 6:650 R 7:963</p>						

事業名	令和7年度	令和7年度	令和8年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
清流保全推進事業費	1,588	1,531	1,517		(入) 849	668

I 清流保全推進事業費 (1,517千円 (-)668千円 (入)849千円)

1 目的

高知県の清流の保全・再生のため、物部川清流保全計画及び第2次仁淀川清流保全計画を推進する。

また、清流保全活動を環境先進企業と協働で進める協働の川づくり事業パートナーズ協定の取組を行うほか、企業等の助成制度と県内のNPO等とのマッチングを行うことで、地域の活動を活発化させるなどの取組により、清流保全を推進する。

2 内容

(1) 事務費 (1,517千円 (-)668千円 (入)849千円)

3 令和7年度に実施した主な事業

(1) 物部川清流保全推進協議会の取組

- ・代かき時期における濁水対策、軽減に向けた啓発
- ・子どもたちの環境学習
- ・清流保全活動の普及啓発 等

(2) 仁淀川清流保全推進協議会の取組

- ・川の安全教室
- ・仁淀川一斉清掃
- ・子どもたちの環境学習 等

(3) 清流基準モニタリング調査による物部川及び仁淀川の水質の把握

(4) 協働の川づくり事業パートナーズ協定企業11社との協働活動

(協定企業)

アサヒビール株式会社、高知食糧株式会社、有限会社高知アイス、株式会社あさの、株式会社伊藤園、株式会社四万十ドラマ、株式会社サンプラザ、株式会社土佐山田ショッピングセンター、三愛オブリ株式会社、国友商事株式会社、岡林釣具株式会社

事業名	令和7年度	令和7年度	令和8年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
四万十川総合対策費	16,506	16,506	17,509		(入) 2,696	14,813

I 四万十川総合調整事業費 (13,347千円 (-)13,347千円)

1 目的

四万十川の総合調整のため、国、愛媛県、流域市町、関係団体、住民団体等との連携を図るとともに、四万十川流域の保全と振興の実践団体である四万十川財団を支援する。

2 内容

(1) 四万十川財団運営費補助金 (13,347千円 (-)13,347千円)

四万十川流域の保全と振興を推進する中核的实践組織として設立した四万十川財団を支援するため、管理運営費の一部を助成する。

補助先：公益財団法人四万十川財団

3 令和7年度に実施した主な事業

- ・ 文化的景観連絡協議会、四万十川総合保全機構等との連携による流域の振興及び保全を図る取組
- ・ 環境学習の実施等による住民協働の流域振興を図る取組

II 四万十川条例推進事業費 (4,162千円 (-)1,466千円 (入)2,696千円)

1 目的

四万十川の保全と流域の振興を図ることを目的とした四万十川条例の規定に基づき、重点地域における許可制度の運用を行うほか、生態系・景観の保全や共生モデル地区の取組を推進する。

2 内容

(1) 四万十川流域保全振興委員会委員報酬 (225千円 (-)225千円)

四万十川条例に関する重要事項等の調査審議を行う。

(2) フォーラム開催委託 (1,245千円 (入)1,245千円)

四万十川を始めとした県内各河川流域の行政関係者や民間団体、県民が参加し、講演やワークショップ等を行うフォーラムを開催する。

委託先：公益財団法人四万十川財団

契約方法：随意契約

(3) 事務費 (2,692千円 (-)1,241千円 (入)1,451千円)

3 令和7年度に実施した主な事業

- ・ 重点地域における四万十川条例許可制度の運用
- ・ 清流基準モニタリング調査による四万十川の水質の把握
- ・ 四万十川流域保全振興委員会の開催及び審議
- ・ 「ちょっと聞いてみん？こうちの森と川のこと ～流域の明日のために～」の開催

事業名	令和7年度	令和7年度	令和8年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
希少動植物保護対策事業費	35,312	35,312	51,703	2,498	(入)34,244	14,961

I 保護対策事業費 (35,568千円 (-)14,366千円 (国)2,498千円 (入)18,704千円)

1 目的

高知県希少野生動植物保護条例及びうみがめ保護条例に基づき、県内に生息、生育する希少野生動植物の調査や保護対策等を行う。また、外来生物法による特定外来生物の拡大防止のための対策を行う。

2 内容

(1) 野生生物分布調査業務委託 (7,843千円 (入)7,843千円)

地域環境を把握し、変化をモニタリングするための野生動植物調査及びデータベースの整備並びにモニタリング体制を担う人材の育成を行う。

契約先：認定NPO法人四国自然史科学研究センター

契約方法：随意契約

(2) 野生植物分布調査業務委託 (10,861千円 (入)10,861千円)

県民参加型の植物調査を通じて環境保全の人材育成及び普及啓発を行う。

契約先：公益財団法人高知県牧野記念財団

契約方法：随意契約

(3) サンゴ保全事業委託 (900千円 (-)900千円)

サンゴの保全のための人材育成講習開催及びこうちサンゴ沿岸生態系適応ネットワークの運営支援業務を行う。

契約先：公益財団法人黒潮生物研究所

契約方法：随意契約

(4) 特定外来生物分布調査委託 (2,498千円 (国)2,498千円)

特定外来生物チュウゴクオオサンショウウオ等の高知県内での分布状況の調査を行う。

契約先：認定NPO法人四国自然史科学研究センター

契約方法：随意契約

(5) レッドデータブック改訂委託 (13,197千円 (-)13,197千円)

高知県レッドデータブック(動物編)の改訂を行う。

契約先：認定NPO法人四国自然史科学研究センター

契約方法：随意契約

(6) 事務費 (269千円 (-)269千円)

3 令和7年度に実施した主な事業

- ・地域環境を把握し、変化をモニタリングするための野生動植物調査の実施(5年目)
- ・県沿岸のサンゴ群集の分布等の調査実施及びこうちサンゴ沿岸生態系適応ネットワーク会議開催
- ・特定外来生物チュウゴクオオサンショウウオ等の分布調査の実施

Ⅱ 希少野生植物食害対策事業費 (15,540千円 (入)15,540千円)

1 目的

ニホンジカの食害から希少野生植物を守るため、防護ネット設置、既設ネット設置箇所のモニタリング調査等の業務を委託する。

2 内容

(1) 調査業務委託 (1,441千円 (入)1,441千円)

ニホンジカの食害による希少野生植物への影響調査、ヒアリング等を行い、専門的知見による防護柵設置計画の作成を委託する。

委託先：公益財団法人高知県牧野記念財団

契約方法：随意契約

(2) 防護柵設置業務委託 (3,000千円 (入)3,000千円)

設置計画に基づいた防護ネットの設置業務を委託する。

委託先：管轄の各森林組合等

契約方法：随意契約等

(3) モニタリング調査業務委託 (11,099千円 (入)11,099千円)

前年度までに設置した防護ネットの効果を把握するためのモニタリング、防護ネットの状態確認や簡易補修を委託する。

委託先：株式会社西日本科学技術研究所

契約方法：随意契約

3 令和7年度に実施した主な事業

ニホンジカの食害による希少野生植物への影響調査、防護ネットの設置や既設ネットのモニタリング調査等の実施

- ・防護柵設置計画のための調査箇所 2か所
- ・防護ネットの設置 3か所 延長289m (いの町100m、土佐町189m)
- ・既設ネット箇所の点検、モニタリング 全箇所 (50か所) 点検、モニタリング15/50か所

Ⅲ 生物多様性地域戦略推進事業費 (595千円 (-)595千円)

1 目的

生物多様性基本法に基づき策定した「生物多様性こうち戦略」の推進及び進捗管理を行う。

2 内容

(1) 委員報酬 (117千円 (-)117千円) (環境審議会自然環境部会委員)

(2) 事務費 (478千円 (-)478千円)

3 令和7年度に実施した主な事業

生物多様性地域戦略の普及啓発

- ・生物多様性こうち戦略【2024改定版】概要版の作成
- ・生物多様性こうち戦略推進リーダー登録者数 新規登録14人 (累計：134人)

事業名	令和7年度	令和7年度	令和8年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
自然公園等施設整備事業費	15,684	18,140	77,593	39,603	(債) 19,600	18,390

I 自然公園等リフレッシュ事業費

1 目的

自然公園や長距離自然歩道（四国のみち）などの施設整備を行った箇所において、長年の使用等により老朽化したものや危険な箇所等を改修し、来訪者の快適な利用や安全を確保する。

2 内容

(1) 設計委託料

- ・しらす峠園地トイレ改築発注者支援業務（1,397千円 (-)69千円 (国)628千円 (債)700千円)
- 委託先：未定
- 契約方法：指名競争入札等

(2) 土木システム保守管理委託（904千円 (-)904千円）

- 委託先：システム事業者
- 契約方法：随意契約

(3) 施設整備工事請負費（55,913千円 (-)13,279千円 (国)23,734千円 (債)18,900千円）

- ・しらす峠園地整備工事（43,725千円 (-)12,350千円 (国)19,675千円 (債)11,700千円）
- ・四国のみち看板等改修工事（9,020千円 (-)561千円 (国)4,059千円 (債)4,400千円）
- ・自然公園施設整備工事（3,168千円 (-)368千円 (債)2,800千円）

(4) 自然環境整備交付金（15,000千円 (国)15,000千円）

- 土佐清水市が行う足摺岬の遊歩道整備に対し補助する。
- 実施主体：土佐清水市
- 補助率：50%

(5) 事務費（353千円 (-)112千円 (国)241千円）

3 令和7年度に実施した主な事業

- ・しらす峠園地トイレ改築工事等設計委託
- ・四国のみち看板等改修工事
案内板や指導標識等の板面取替、ベンチ等の研磨塗装など
- ・施設整備工事請負費
龍河洞県立自然公園の案内板改修
県立月見山こどもの森の遊具等改修
四国カルスト県立自然公園公園施設の駐車場の区画改修等

事業名	令和7年度	令和7年度	令和8年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
自然公園等管理費	32,349	32,349	32,521	249	(使) 28 (諸) 5,277	26,967

I 自然公園管理費 (1,391千円 (-)1,363千円 (使)28千円)

1 目的

「自然公園法」及び「高知県立自然公園条例」により指定された足摺宇和海国立公園、3国定公園及び18県立自然公園の管理運営を行うとともに公園利用の適正化を図る。

2 内容

(1) 四国のみちポータルサイト制作運用協議会負担金 (100千円 (-)100千円)

四国4県連携推進費で作成した「四国のみちポータルサイト」の維持管理
負担率：25% (四国4県で負担)

(2) 事務費 (1,291千円 (-)1,263千円 (使)28千円)

現地調査等に要する活動旅費や公園施設の修繕費等

II 県立こどもの森管理運営費 (14,499千円 (-)8,973千円 (国)249千円 (諸)5,277千円)

1 目的

「高知県立月見山こどもの森の設置及び管理に関する条例」に基づき設置された月見山こどもの森の管理運営を行う。

2 内容

(1) 月見山こどもの森管理運営委託 (12,356千円 (-)6,830千円 (国)249千円 (諸)5,277千円)

県立月見山こどもの森の管理運営を委託する。

指定期間：令和5年4月1日～令和10年3月31日 (5年間)

指定管理者：情報交流館ネットワーク

(2) 事務費 (2,143千円 (-)2,143千円)

3 令和7年度に実施した主な事業

県立月見山こどもの森の管理運営委託

- ・利用者数 18,870人
- ・実施イベント等：木の実クラフト教室、クリスマスオーナメント作り
- ・その他、地元ボランティア団体等、地域組織の活性化を図る事業

III 四国のみち管理費 (6,416千円 (-)6,416千円)

1 目的

昭和56年度から平成元年度までに整備した長距離自然歩道(四国のみち)の維持管理を地元市町村等に委託し、保守点検及び利用の促進を行う。

2 内容

(1) 四国のみち管理委託 (6,401千円 (-)6,401千円)

長距離自然歩道(四国のみち)の維持管理を委託する。

委託先：18市町村、高知市シルバー人材センター、野根山街道保存協議会

路線数：36ルート(延長411.0km)

(2) 事務費(四国のみち休憩所・園地借地料) (15千円 (-)15千円)

3 令和7年度に実施した主な事業

四国のみち管理委託 36ルート、411.0kmの草刈り等維持管理

IV 自然公園指導員活動強化事業費 (149千円 (-)149千円)

1 目的

「高知県自然公園指導員設置要綱」に基づき、自然公園指導員を配置し、自然公園の適正な保護と利用を促進するとともに、指導員の資質向上を図るための研修会を開催する。

2 内容

(1) 事務費 (149千円 (-)149千円)

自然公園指導員の活動に係る経費(研修会開催費、災害補償保険等)

V 四国カルスト公園施設管理運営費 (10,066千円 (-)10,066千円)

1 目的

「高知県四国カルスト県立自然公園公園施設の設置及び管理に関する条例」に基づき設置された公園施設の管理運営を行う。

2 内容

(1) 四国カルスト公園施設管理運営委託 (6,348千円 (-)6,348千円)

県立四国カルスト自然公園公園施設の管理運営を委託する。

指定期間：令和8年4月1日～令和13年3月31日(5年間)

指定管理者：一般財団法人天狗荘

(2) 調査委託料 (2,833千円 (-)2,833千円)

四国カルスト自然探勝路の植生回復試験区域の植生回復調査及びこれまで自然探勝路で確認されなかった植物(外来種及び在来種)のモニタリング調査(記録及び駆除)等を委託する。

委託先：株式会社西日本科学技術研究所

契約方法：随意契約

(3) 事務費 (885千円 (-)885千円)

3 令和7年度に実施した主な事業

四国カルスト公園施設管理運営委託

- ・利用者数 63,161人
- ・動植物観察会及び学習会の開催など自然体験の機会創出につながる取組
- ・つのフェスの開催など地域振興等に貢献する取組
- ・カフェの運営など公園施設の活用事業としての取組

事業名	令和7年度	令和7年度	令和8年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
牧野植物園管理運営費	1,216,346	1,200,675	1,015,584	109,257	(使) 112 (債) 370,000	536,215

I 牧野植物園管理運営費 (629,498千円 (-)520,129千円 (国)109,257千円 (使)112千円)

1 目的

牧野富太郎博士の偉業を顕彰し、植物研究を通じて、教育文化の向上及び産業振興に寄与するとともに、土佐寒蘭の保護及び知識の普及を図り、県民に対し、憩いの場を提供するため、牧野植物園の管理を指定管理者に行わせる。

2 内容

(1) 管理等委託

牧野植物園の指定管理者による管理運営を委託する。

指定期間：R6.4.1～R9.3.31(3年間)

指定管理者：公益財団法人高知県牧野記念財団

イベント等の開催：

- ①こんこん山 花さんぽ (R8.3.20からR8.5.10まで)
- ②牧野富太郎生誕記念「マキノの日」－無料開園－ (R8.4.24)
- ③食中植物展 (R8.7.18からR8.8.30まで)
- ④企画展 (R8.10.3からR9.3.22まで) 他

3 令和7年度に実施した主な事業の実績

牧野植物園入園者数 274,011人

イベント等の開催：

- ①こんこん山花さんぽ～虹色の風～ (R7.3.22からR7.5.11まで)
- ②「こんにちは、タネです。」企画展 (R7.8.30からR7.12.7まで)
- ③第20回ラン展「ようこそ！冬の華やかな温室へ」 (R8.2.7からR8.3.1まで)
- ④ボタニカルアートの響き-日本とインドネシアの植物画家たち企画展 (R8.3.14からR8.5.24まで)

II 管理運営費(本課) (96,267千円 (-)12,667千円 (債)83,600千円)

1 目的

牧野植物園の管理運営等に係る自然共生課の運営費

2 内容

(1) 測量設計等委託料

- ・ 牧野植物園本館屋根修繕工事監理委託料 (2,647千円 (-)347千円 (債)2,300千円)
- ・ 牧野植物園駐車場用地測量委託料 (5,000千円 (-)1,300千円 (債)3,700千円)

(2) 工事請負費

- ・ 牧野植物園本館屋根修繕工事請負費 (83,000千円 (-)5,400千円 (償)77,600千円)

(3) 事務費

- ・ 指定管理者事業評価委員会の運営ほか (5,620千円 (-)5,620千円)

3 令和7年度に実施した主な事業

- ・ 牧野植物園展示館屋根修繕工事
- ・ 牧野植物園本館屋根修繕工事

Ⅲ 牧野植物園磨き上げ整備事業費 (289,819千円 (-)3,419千円 (償)286,400千円)

1 目的

牧野植物園の新たな魅力を創出するための整備を行う。

2 内容

(1) 土木システム保守管理委託料 (905千円 (-)905千円)

(2) 工事請負費

- ・ 牧野植物園長江圃場高台移転敷地造成工事 (288,600千円 (-)2,200千円 (償)286,400千円)

(3) 事務費

- ・ 指定管理者の公募に係る審査委員会の運営ほか (314千円 (-)314千円)

3 令和7年度に実施した主な事業

- ・ 牧野植物園南園再整備工事
- ・ 牧野植物園南園再整備建築工事
- ・ 牧野植物園南園無電柱化工事

事業名	令和7年度	令和7年度	令和8年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
豊かな環境づくり 総合支援事業費	4,894	4,894	4,950			4,950

1 目的

高知県環境基本計画の目指す3つの社会づくり（脱炭素社会、循環型社会、自然共生社会）を実現するために、NPO、任意団体等が行う地球温暖化対策の啓発活動、環境保全活動、環境学習等に対して総合的に支援を行う。

2 内容

(1) 豊かな環境づくり総合支援事業費補助金（4,950千円 (-)4,950千円）

環境基本計画の方向性に沿った県内で行う取組で、次に掲げる3つの基本方針に資すると認められる事業に対し補助する。

- ・地球温暖化への対策
- ・循環型社会への取組（3Rの推進等）
- ・自然環境を守る取組

補助事業者：特定非営利活動法人環境の杜こうち

補助率：定額

補助金の内訳：事業費 3,500千円 附帯事務費 1,450千円

事業実施主体：NPO等（公益法人を含む）

3 令和7年度に実施した主な事業

間接補助金交付実績

(1) 一般事業：8件

- ・日本防災植物協会（429千円：ミニ防災植物教室「植物×○○」の開催～自然環境に興味を持ってもらうために～）
- ・高知に自然史博物館をつくる会（500千円：「高知に自然史博物館をつくる」ための普及啓発活動）
- ・特定非営利活動法人四国自然史科学研究センター（61千円：高知県に現存する生物標本の一時保管場所の整備活動）
- ・三原村星草の会（459千円：三原村絶滅危惧種自生地の保護活動）
- ・遠山を守る会（500千円：遠山自然公園の池の栈橋の修繕と環境学習観察会の開催）
- ・一般社団法人土佐清水ジオパーク推進協議会（61千円：マルバティショウソウ保全地のモニタリングおよび普及活動）
- ・ジンデ池生物研究所（500千円：ジンデ池の魅力更に！新発見！！&調査メンバー大募集！）
- ・特定非営利活動法人NPO砂浜美術館（500千円：第10回ホネホネサミット2025@高知県黒潮町）

(2) ステップアップ事業：1件

- ・鏡川水生生物研究会（190千円：県民憩いの場鏡川での学生を中心とした生物多様性についての調査と普及活動）

(3) ジュニア枠：3件

- ・南国市立長岡小学校6年生ほか2団体（300千円：環境問題に取り組む学校のクラブ活動等）

事業名	令和7年度	令和7年度	令和8年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
環境活動支援センター事業費	17,823	17,853	18,581		(入) 4,983 (諸) 300	13,298

1 目的

県民の環境活動の支援や環境学習の推進拠点として環境活動支援センター（えこらぼ）を運営し、情報発信、環境学習講師の派遣、生物多様性こうち戦略に基づく普及啓発などの事業を実施することにより、県民一人ひとりの環境への関心を高めるとともに環境に優しいライフスタイルの輪を広げ、地球温暖化対策が進んだ脱炭素社会、環境への負荷が少ない循環型社会、自然環境の保全が図られた自然共生社会の構築を目指す。

2 内容

(1) 環境活動支援センター事業費 (18,581千円 (-)13,298千円 (入)4,983千円 (諸)300千円)

県民の環境活動を支援し、環境学習等を推進する拠点として環境活動支援センター（えこらぼ）の運営を行うとともに普及啓発等を行う。

委託先：特定非営利活動法人環境の杜こうち

委託期間：令和8年度～令和10年度（3年間）

3 令和7年度に実施した主な事業

(1) 情報発信

- ・ホームページの運営
- ・メールマガジンの配信、SNSによる情報発信等

(2) 環境学習支援

- ・環境学習の講師紹介・派遣
- ・環境絵日記コンテスト
- ・こどもエコクラブ事業

(3) 生物多様性こうち戦略の推進

- ・生物多様性こうち戦略推進リーダー養成講座・活動現場体験ツアー
- ・表彰事業「ふるさとのいのちをつなぐ生物多様性こうちプラン大賞」の開催

(4) その他

- ・地域イベントへの出展
- ・環境学習プログラムの作成

事業名	令和7年度	令和7年度	令和8年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
公園施設等災害復旧事業費	5,000	5,000	5,000		(債) 5,000	
<p>1 目的及び内容 自然公園区域内の施設が降雨、暴風、洪水、津波その他異常な自然現象によって被災又は破損した場合に、当該施設を原形に復旧する。</p> <p>2 令和7年度に実施した主な事業 事業実施なし（該当災害なし）</p>						

事業名	令和7年度	令和7年度	令和8年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
自然保護基金管理費 (特別会計)	1,464	1,464	1,484		(財) 17 (越) 1,467	
<p>1 目的 高知県自然保護基金条例及び高知県自然保護基金管理規則に基づき、県内の自然環境に優れた土地を取得し、自然保護を推進する。</p> <p>2 内容 (1) 事務費（県が取得した土地の維持管理に係る経費）</p>						